

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

### 新規受託項目

- [4558] 多発性骨髄腫解析(MMA)《CD38ゲーティング法》

### 受託開始日

- 平成22年9月13日(月)

## 多発性骨髄腫解析(MMA)《CD38ゲーティング法》

多発性骨髄腫(Multiple Myeloma)は造血器腫瘍の一つであり、骨髄において異常な腫瘍性形質細胞が産生される疾患です。正常細胞では通常、多クローン性の免疫グロブリンが産生されますが、多発性骨髄腫では異常腫瘍細胞により単クローン性の免疫グロブリン(M蛋白)が産生され、血中に分泌されるため一般的には免疫電気泳動によりM蛋白を同定することにより診断されています。しかし、M蛋白の同定では診断が困難な場合があり、有用性の高い新しい検査法が求められていました。

今般、従来の白血病・リンパ腫解析(LLA)《CD45ゲーティング法》に加え、新たに多発性骨髄腫解析(MMA)《CD38ゲーティング法》の検査を開始致します。

本検査はフローサイトメリーにより形質細胞のゲーティングを行うことで未熟、中間型、成熟骨髄腫細胞を速やかに識別・分類致します。通常CD38抗原は形質細胞のみならず活性化したT、B細胞にも発現していますが、その発現量には差があるため(形質細胞のみ強陽性)、その陽性度の度合いにより骨髄腫細胞を特異的に捉えることが可能です。

また、報告に際しましてはA3版専用報告書を使用し、解析チャート、数値、グラフを表示することにより詳細な検査結果を迅速にご提供致します。

### 参考文献

東 克巳：Med Technol, 35(12), 1281～1287, 2007.

## 検査要項

項目コード	4558
検査項目名	多発性骨髄腫解析(MMA)《CD38ゲーティング法》
検体量	骨髄液 1mL ヘパリン加血液 5mL
保存方法	室温
検査方法	フローサイトメトリー
基準値	(設定せず)
解析パネル	①CD56×CD45×CD19 ②CD138×CD45 ③CD49e×CD45 ④MPC1×CD45 ⑤cylgκ×cylgλ×CD45
所要日数	2～3日
検査実施料	1000点* [D005]血液形態・機能検査の「15」モノクローナル抗体法による造血器悪性腫瘍細胞検査(一連につき)
判断料	135点(血液学的検査判断料)
定価	27,000円
備考	<p>受付曜日:月～金曜日、土曜日及び休祭日前日の受付不可</p> <p>*保険適用備考</p> <p>(1) モノクローナル抗体法による造血器悪性腫瘍細胞検査はモノクローナル抗体を用いて蛍光抗体法、酵素抗体法、免疫ロゼット法等により白血病細胞又は悪性リンパ腫細胞の表面抗原又は細胞内抗原の検索を実施して病型分類を行った場合に算定できます。</p> <p>(2) 対象疾病は白血病、悪性リンパ腫等である。</p> <p>(3) 検査に用いられるモノクローナル抗体は、医薬品として承認されたものであり、検査に当たって用いたモノクローナル抗体の種類、回数にかかわらず、一連として所定点数を算定する。</p>

